



振り返り

ベンチマークについて、「一人あたり」や職種の構成における比較事業規模も同じ定義とするなど勉強になった。安全性はさらに掘り下げていかなければならない。

意図的に稼働率を下げているため、どうしたら見直せるか等、損益分岐点の部分でヒントを得た。どの数字を洗い出し、あたりをつけるかの協力を総務にも依頼する。

課題を克服するために数字は大切だということを改めて感じた。
しっかり把握するのは難しいこともあるが、身につければ視野が広がると感じた。

数字を分析することで、現場の課題が見えてくるということ、部下に対する説明を具体的に
行うための根拠として使用するなど学びが深まった。

貸借対照表、損益計算書のイメージは掴めたと思っている。どの数字をどのよう
に見ていくかしっかりと理解を深めていきたい。

※チャット上の類似する意見は1カテゴリに集約し、一部表現を変更していますが、極力文意が変わらないよう表現しております。
※多く共有いただいた方は、複数の吹き出しに分けて記載しております。